

目標達成計画

作成日：平成26年7月19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	68	職員からみて、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思っていたが、家族アンケートで、ホームでの様子等が上手く伝わっていなかった。	入居者の日常、スタッフの取り組みが家族等に伝わる。	日々の様子を記録にしっかり記入し、記録を見せながら普段の様子を良い事も悪い事も面会時に話す。なかなか面会に来れない方には日常の様子をメール等で知らせる。ブログ・荒子の郷だよりを活用する。	3ヶ月
2	64	馴染みの人が訪ねてくることは減多になく、家族の面会がほとんどである。町内会の人でも役員の方のみで、荒子の郷がこの町内にあるという事がまだ町内の人で分かっている人の方が少ない。	町内会の役員の方だけでなく、町内に住んでいる方に、荒子の郷がここにある事を知ってもらう。	積極的に町内会の行事に参加したり、近くにある中学校との交流を増やす。荒子の郷でのレク等行事に町内会の方や子ども会を招き交流する。介護についての講習等開催時には回覧板等で参加者を募る。	6ヶ月
3	49	外出の機会が少なく、行きたいところに行けない。	外出の機会が増え、行きたいところに行く事が出来る。	徒歩圏内だけでなく、入居者の自宅、行きつけの場所であったり、本人の希望を聞き、希望にそった支援を実践していく。歩けるうち動けるうち、色々なことが分かるうちに実現していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。